

# ホノルル市アアラ地区における戦前の日本人街

飯田 耕二郎

## はじめに

ホノルルのアアラ地区は古くから市の中心部にあたるダウンタウンの西側に位置する地区である。第二次大戦前はここに日本人街が存在し、多くの日本人商店や映画館などがあつて、いわばハワイにおける日本人の中心街のような場所であつた。本稿ではアアラ地区における戦前の日本人街の有様を残された数枚の地図を利用して復元し、さらにそこで商店などを営んでいた人達はどのような経歴の持ち主であつたかを人名鑑などを用いて明らかにしたい。

ラ街とベレタニア街又アヌ川、クイーン街（現在のニミッツ・ハイウェイ）に囲まれた地域である（図1）<sup>3</sup>参照。

砂糖耕地での契約労働を満了した日本人が、一八九〇年頃から次第にホノルルに流入するようになったが、一九〇〇年にダウンタウンでおこつたペスト焼き払い事件で日本人が密集していた地域がほぼ全焼し大きな被害を被つた。しかしこれが一つの契機となり市内各地に日本人町が形成された<sup>4</sup>。それらの日本人町のなかでダウンタウンのすぐ西側に商店が立ち並び日本人街が形成されていくが、それがアアラ地区である。この地域のすぐ海側にはホノルル港があり、この地区内のキング街には市街電車が西のカリヒから東のカイムキ、また西のリリハから東のワイキキまで頻繁に通つていた。またオアフ鉄道の停車場がこの地区のキング街を隔てたイウイレイにあり、オアフ島の各地方

## 1. 地区の概要

アアラ地区は、ホノルル市のダウンタウンの西側にあり、ほぼアア

から鉄道や、後にはバスでやって来るのに便利であった。鉄道のない裏オアフの人達には、各所にタクシー・スタンドがあり人が集まりやすく、いわば交通の中心地でもあった。<sup>(2)</sup>

US Census (アメリカ合衆国国勢調査)によると、ホノルル市における日本人の人口と全人口に対する比率は、一九〇〇年が五五九五(一四・二%)、一九二〇年が二万二〇九三人(二三・二%)、一九二〇年が二万四五二三人(二九・四%)、一九三〇年が四万七四六八八(三四・五%)で、日本人は十年ごとに倍増し比率も急増している。このうち一九三〇年の国勢調査ではアララ地区(Representative District No.5, Precinct 24)における日本人人口は二七〇九人で、この地区全体人口の四六・五%を占め、日本人集住地区の一つであった。つまりこの地区の半数近くが日本人だったのである。

## 2. 一九一〇年代の地図にみる日本人街

図1は武居熱血『ホノル、繁昌記』(本重眞壽堂、一九一一年)に収められている地図のうち、この地区の日本人商店の分布を示すものである。武居は第4章でも登場するが、リバー街で呉服店を営みながら、ハワイ各地を巡回し、『布哇一覽』(一九一四年)、『布哇活動の大和民族』(一九一七年)などハワイの日本人についての本をいくつか著している。とくに『ホノル、繁昌記』と『布哇一覽』は、決して正確な地図とはいえないが他に類書がないだけに当時の日本人の分布を

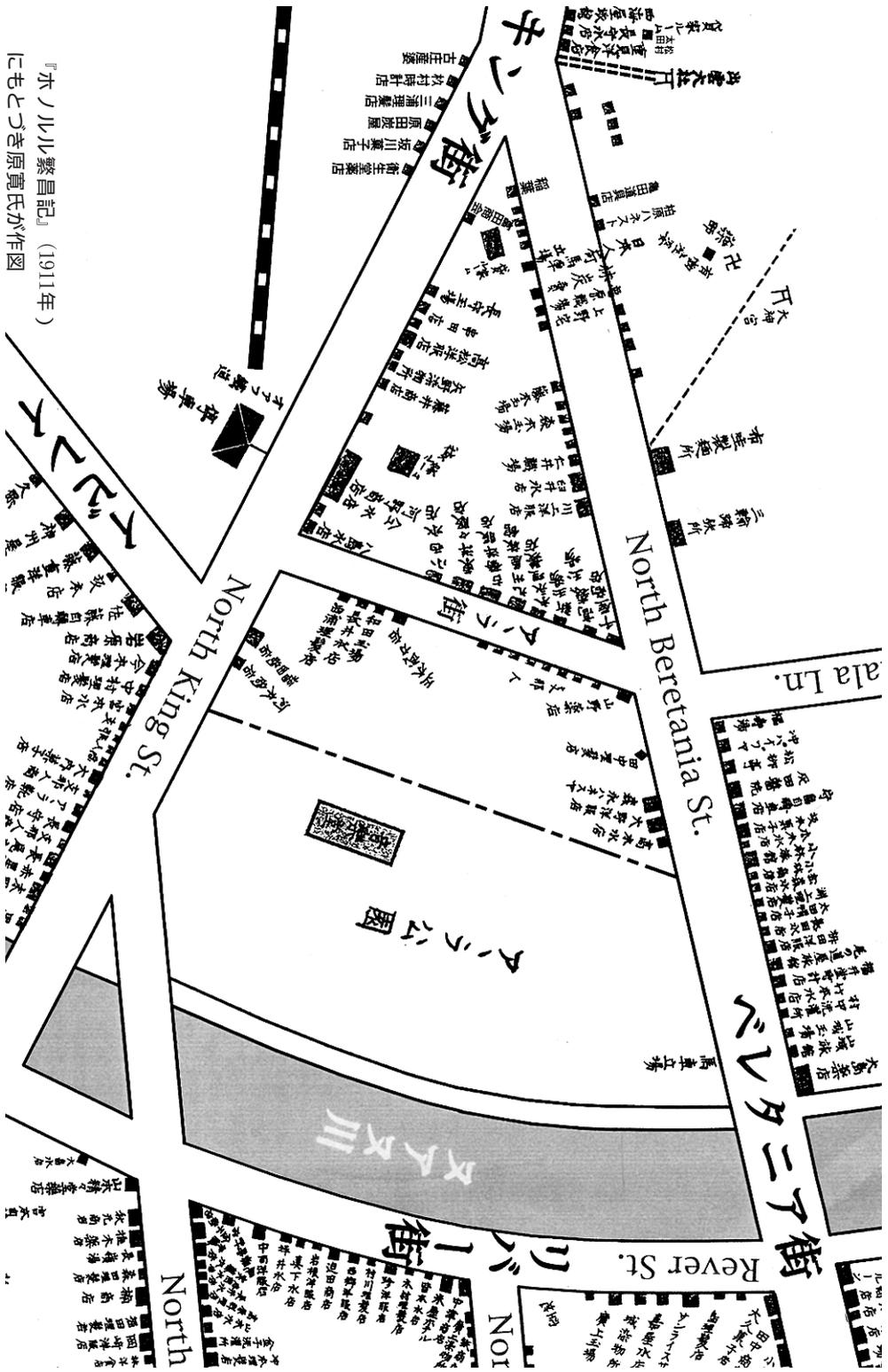
示す史料として貴重なものである。

さて、この分布図をみると一九一〇年頃にはすでにかなりの日本人商店がアラ公園の周囲に存在することがわかる。そのうち旅館は広島出身者が経営する山城・尾道屋・小林・神州屋旅館が目立ち、他に九州屋(熊本県)と又アヌ川を隔てて米屋旅館(山口県)が存在する。また洋服店、水店、理髪店、玉場(玉突場)、薬店がいくつかみられる。

次に図2であるが、これはFIRE INSURANCE MAP(火災保険地図)といわれるものである。アメリカ合衆国やカナダで火災保険のために数年ごとに作成された地図で、さすがに建物の形状などは正確だと考えられる。しかし所有者や商店の種類などの記載がないため当時の住所録などで照合する必要がある。当時の商店などの位置を復元する作業が面倒である。それ故が、これを利用した研究はいまのところまだ少ない。<sup>(1)</sup>

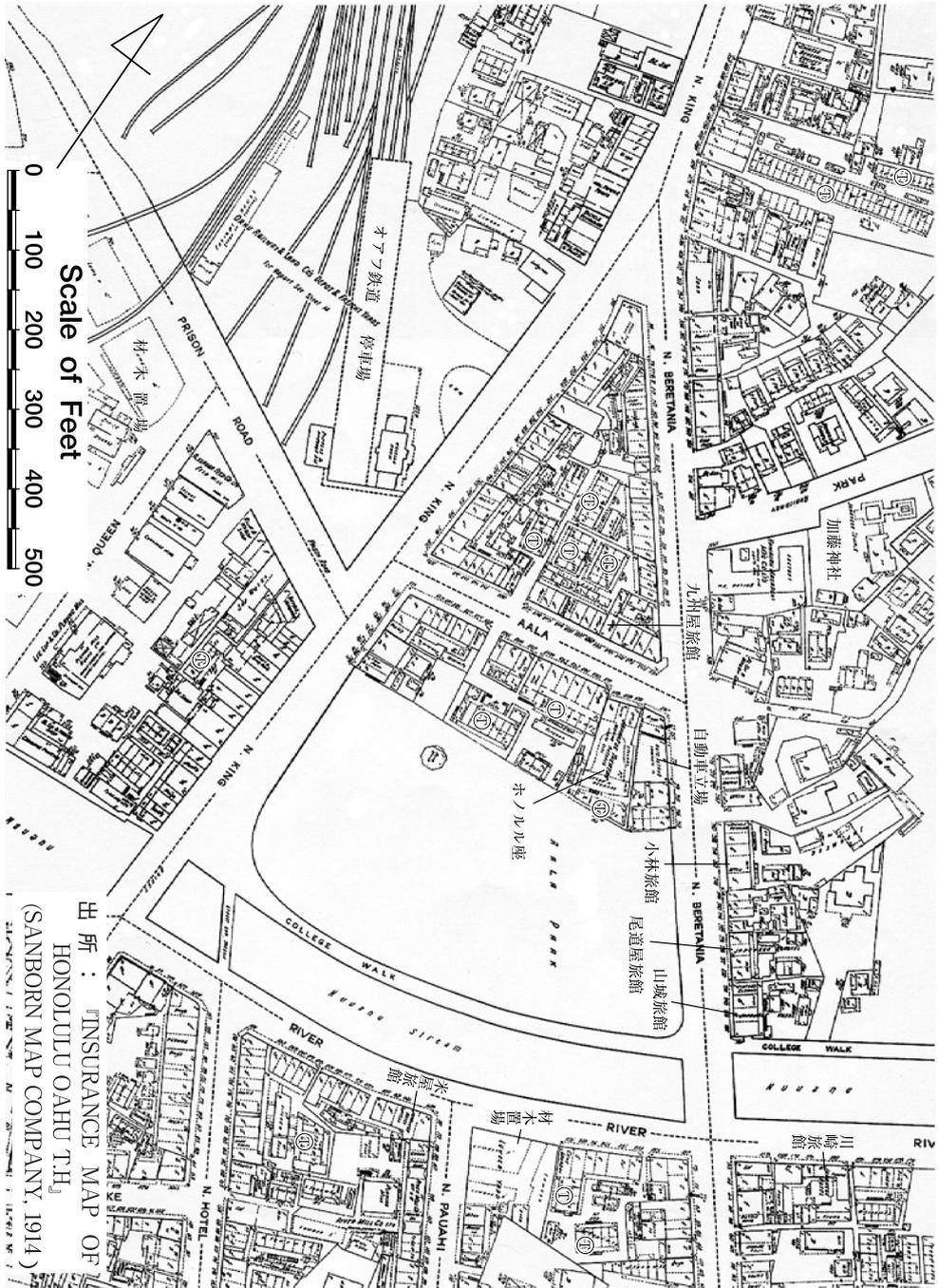
図2の地図は一九一四年のものであり、図中の通りに面したところにSの記号が多いが、これはStore(商店)であろう。また通りから離れた街路区画の内側に①の記号を付したところはTenements(借家、アパート)で、この辺りとくに日本人が多く住み、持主も日本人あるいは白人、中国人であった。日本人はこれを館府(キャンブ)とか貸ルームと呼んでいた。<sup>(3)</sup>なお大きな建造物などについては英語名が記されており、主なものを日本語で記入しておいた。Japanese Hotel(日本人旅館)の場所は図1とほぼ同じであるが、小林はじめ

ホノルル市アラ地区における戦前の日本人街



図一 一九二一年頃の商店分布図

『ホノルル繁昌記』(1911年)  
にもとづき原實氏が作図



Scale of Feet  
 0 100 200 300 400 500

出所：『INSURANCE MAP OF  
 HONOLULU OAHU T.H.』  
 (SANBORN MAP COMPANY, 1914)

図2 一九一四年頃のオアフ地区

山城、尾道屋などの旅館が通りに面した間口は広くないが、奥の方まで大きく広がっている様子が見て取れる。また自動車立場は Auto Stand とあり、これはいわゆるタクシー乗り場で小さなものは市内各所にみられた。加藤神社は Japanese Temple とあるが、位置的にみて神社であることは間違いない。この神社については以下の説明の通りで、当時の日本人とくに熊本県人にとって旅館とともに大きな存在であったことは間違いない。

加藤神社は布哇に於ける在留同胞中、清正公帰依者の懇請に依り明治四十四（一九一一年）年九月肥後国熊本県熊本市城北に鎮座奉祀せらるる県社加藤神社を分祠奉齋したるものにして大正元（一九一二年）年八月二十三日ホノルル市ベレタニア街に地をトシ神殿及び社務所を新築し此に鎮祭す。目下奉信会員二千余名にして別に役員を置き経営の任に当たらしむ。榮木鎮二郎氏社司たり。付屬事業として別に神教主義を奉持せる青年団体を有す。<sup>6)</sup>

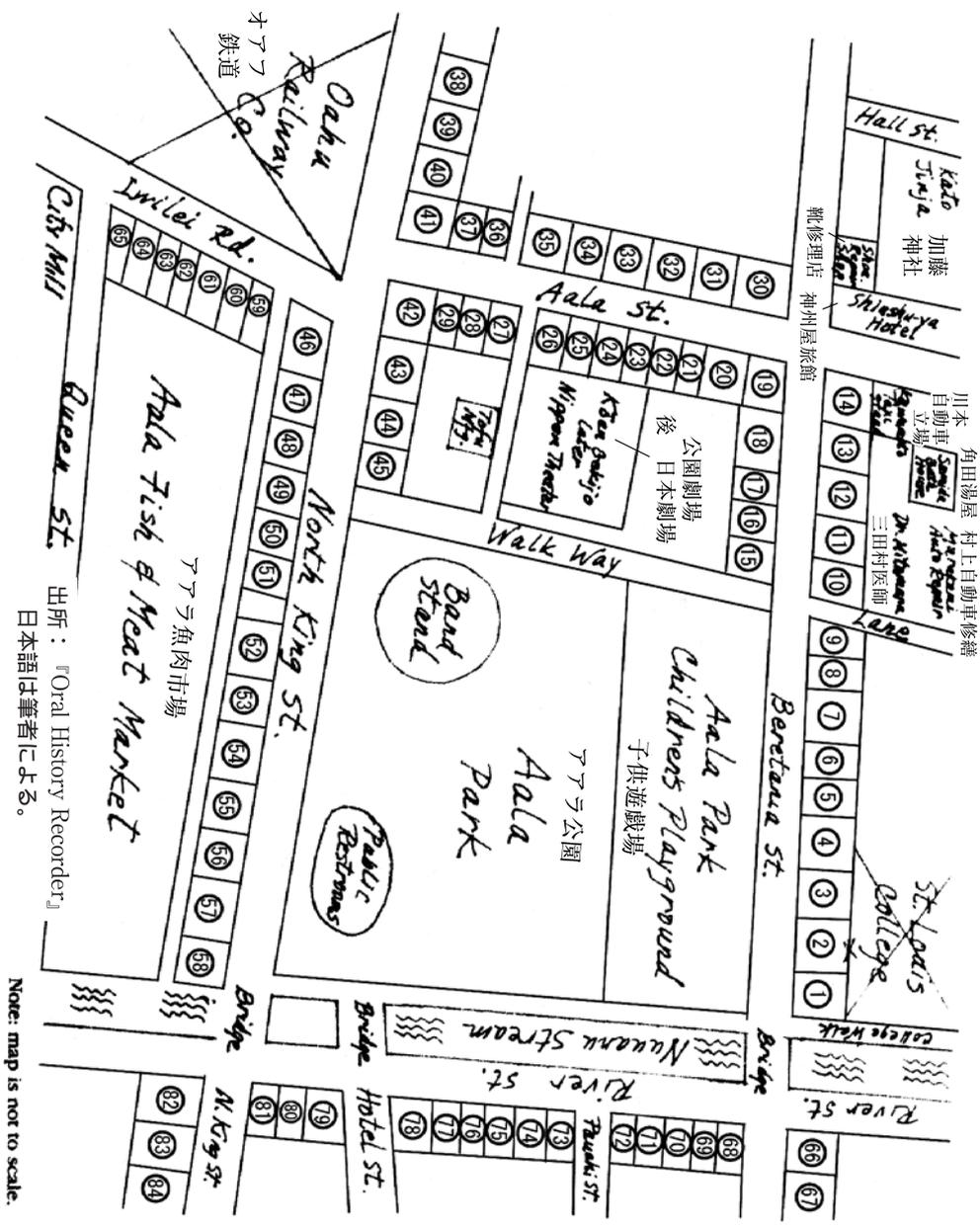
また Japanese Theatre はホノルル座で、以下のように最初は芝居小屋から出発し、後に日本映画館となった。当時の日本人にとって重要な娯楽施設であったと思われる。

ホノルル座は一九〇三年に中国人の芝居小屋としてアラ街に開館し、翌年日本人がこれを借り受けて興行した。長年にわたり日本

人向けに芝居や浪花節の興行、演説会、活動写真やトーキーの上演が行われ、そのためにたびたび改装や改築が行われた。一九二六年には広島県人の沢村作市氏が沢村興行部を興してホノルル座の支配人となって日本物の活動写真の常設館とした。さらにトーキー（発声映画）時代の到来に備えて逸早くホノルル座を大改造して、最新式の発声映画館として一九三一年に華々しく再登場した。<sup>7)</sup>

### 3. 一九二〇年代～三〇年代の地図にみる日本人街

図3は、ハワイ大学社会科学調査研究所の「Oral History Recorder」調査に基づいて作成された一九二〇～三〇年代にかけてのこの地区の商店分布図である。<sup>8)</sup> もとの図では商店名は英語で記載されているが、ここでは図中にナンバを付し、文中に日本語で商店名を記載した。( ) 内の文も分布図の説明のために付された文章の和訳である。そして各商店と関係のある人物を日布時事社編『布哇年鑑』（一九二八年）の「布哇日本人名住所録」を利用して、人名、職業、出身県、住所（街路名と番地）を「」内に記した。なお白抜き数字の商店は、図1の分布図にも記載のみられるものであるが、全体としては図1の一九一一年からこの頃まで続いている商店は意外と少ないように思われる。



出所：『Oral History Recorder』  
日本語は筆者による。

Note: map is not to scale.

図3 一九二〇年代～三〇年代の商店分布図

## ベレタニア街

- ① 大島薬店（ベレタニア街とカレッジウォークとの角）  
〔大島藥輔 支配人青木秀作 山口 202 N. Beretania St.〕
- ② 山城ホテル  
〔山城旅館 館主山城松太郎 広島 206 N. Beretania St.〕
- ③ 港屋食堂  
〔戸井源一 料理店 広島 222 N. Beretania St.〕
- ④ 中村ホテル  
〔中村勇一 旅館員 広島 250 N. Beretania St.〕
- ⑤ イハ理髪店  
〔伊波正清 理髪店 沖縄 240 N. Beretania St.〕
- ⑥ 岡本商店  
〔岡本周作 商店員 広島 246 N. Beretania St.〕
- ⑦ 小林ホテル  
〔小林旅館 館主木本吉太郎 広島 250 N. Beretania St.〕
- ⑧ 〈木本水店〉木本商店  
〔坂本菓子店（餅、キャンディ、一番美味しいカステラ） 坂本芳太郎 菓子店 福岡 258 N. Beretania St.〕
- ⑩ 日本レストラン  
磯部
- ⑪ 磯部太蔵 商店主 山口 276 N. Beretania St.〕
- ⑫ 西海屋ホテル  
〔西海屋旅館 館主長谷川圓蔵 熊本 280 N. Beretania St.〕
- ⑬ レストラン  
⑭ 川本サイミン・スタンド（後にモイリイリの南キング街とハウス  
テン街の角に移る）
- ⑮ 川本四郎 運転士 広島 250 N. Beretania St.〕
- ⑯ 森永ハーネス店  
〔森永千次郎 馬具商 熊本 271 N. Beretania St.〕
- ⑰ 甘栗太郎  
〔甘栗太郎賣店 265 N. Beretania St.〕
- ⑱ 理髪店・内間裁縫店（内間トヨ）  
〔内間三郎 裁縫店 沖縄 263 N. Beretania St.〕
- ⑲ タクシー・スタンド（立場）
- アラ街（ダイヤモンドヘッド側）**
- ⑲ アアラ靴店（ケネス長沢）  
〔長澤八郎 アアラ靴店主 福岡 291 N. Beretania St.〕
- ⑳ ホノルル座（主に日本映画）  
㉑ 坂本商店  
㉒ クリーニング店  
㉓ 理髪店
- ㉔ 岸井商店（主に日本食料雑貨）  
〔岸井商店 1049 Aala St.〕

- ②5 レストラン  
〔前田山戸 洋食店主 沖縄 1014 Aala St.〕
- ②6 吉永商店  
〔前田三郎 ウエター 沖縄 1014 Aala St.〕
- ②7 中国人靴修繕
- ②8 〈和田?〉 玉突き場
- ②9 〈西浦?〉 理髪店
- アアラ街(エワまたは西側)**
- ③0 朝鮮人ホテル
- ③1 理髪店(下前、後に高岡)  
〔下前軍助 理髪店貸家業 広島 1040 Aala St.〕  
〔高岡直 理髪店主 熊本 1036 Aala St.〕
- ③2 山田商店・タクシー  
〔山田清次郎 商店主 広島 1032 Aala St.〕
- ③3 花岡商店・タクシー  
〔花岡タツノ 商店主 広島 1030 Aala St.〕
- ③4 石原時計店(後にリバー街近くのホテル街に、さらにビショップ街近くのホテル街に移り、最後にアラモアナセンターのホールマー  
ク宝石店になる)  
〔石原儀平 時計店主 広島 1026 Aala St.〕
- ③5 中華レストラン
- ③6 オゴソ商店
- ③7 前田レストラン
- 〔前田山戸 洋食店主 沖縄 1014 Aala St.〕  
〔前田三郎 ウエター 沖縄 1014 Aala St.〕
- オアフ鉄道会社に面する北キング街**
- ③8 玉根シャツ製造(玉根幸三郎)  
〔玉根幸三郎 裁縫店主 福島 316 N.King St.〕
- ③9 中国人漢方薬店
- ④0 だるまや果物・飲料店(八島忠雄による経営)  
〔八島忠雄 だるま屋商店主 広島 308 N.King St.〕
- ④1 中国人肉屋(キングとアアラ街の角)
- アアラ連合に面する北キング街**
- ④2 ベンソン・スミス薬局(キングとアアラ街の角)
- ④3 チャプスイ店(階上は大きなダンスホール、後に布哇屋旅館と  
ルーズベルト・カフェ)
- ④4 呉服店(中国人経営)
- ④5 デュ・ドロップ・イン(中国人経営、二階は金栗写真館とカネオ  
齒科)  
〔金栗八郎 写真館主 熊本 270 N.King St.〕
- アアラ連合**
- ④6 岩原商店(岩原竹登)

- 〔岩原竹登 商店主 広島 263 N.King St.〕  
 〔サン・ロイ呉服店(チャン夫人)〕  
 〔中華レストラン(高良幸次郎が経営し、後にスター靴店に変わった)〕  
 〔高良幸次郎 デリメン店員 沖縄 Kakakaua Ave.〕  
 〔49 アロハ骨董店(河野磯松)〕  
 〔河野磯松 商店主 広島 251 N.King St.〕  
 〔50 平和堂宝石店(アワムラ・トクヨシ)〕  
 〔平和堂時計店 247 N.King St.〕  
 〔51 チョウズ呉服店(リチャード・チョウの父、後に前田勘司が経営した甘栗太郎)〕  
 〔前田勘司 甘栗太郎賣店主 長野 1743 Kaunaulii〕  
 〔52 菓子店〕  
 〔53 中国人洋服店(後に岡崎洋服店、さらにパシフィック毛織物、森久保)〕  
 〔岡崎音治 洋服店主 福島 169 N.Hotel St.〕  
 〔森久保重樅 裁縫師 広島 1008 Isenberg St.〕  
 〔54 小林呉服店(小林政一)〕  
 〔小林政一 商店主 山口 227 N.King St.〕  
 〔55 佐藤服装店(佐藤太一、以前は小山商店)〕  
 〔佐藤太一 帽子店主 山口 223 N.King St.〕  
 〔56 ライオン靴店(三宅、次に長沢、さらに松田)〕  
 〔三宅光次 靴店主 岡山 219 N.King St.〕  
 〔長澤八郎 アアラ靴店主 福岡 291 N. Beretania St.〕  
 〔57 布哇輸入会社(以前は福田善一商店、ヒロの中本栄吉の所有で、岡本カメ夫人が支配人)〕  
 〔布哇輸入会社 社長中本栄吉 211-215 N.King St.〕  
 〔中本栄吉 布哇輸入会社 山口 ヒロ市)〕  
 〔58 赤星薬舗 209 N.King St.〕  
 イウイレイ  
 〔59 岡広自転車店(オートバイと自転車、後に長谷山洋服店)〕  
 〔岡廣自転車店 981 Iwilei Rd.〕  
 〔長谷山藤三 岡崎洋服店員 広島 169 N.Hotel St.〕  
 〔60 レストラン(中国人経営)〕  
 〔61 ハワイ毛織物会社(谷村松右衛門と息子の基弘による所有、後にマウナケア外近くの北キング街に移り、さらにフェア百貨店をベレタニアとフォート街に一九三二年創立した)〕  
 〔谷村松右衛門 布哇ラシヤ商會社長 山口 1623 Democrat St.〕  
 〔谷村基弘 商會員 山口 1623 Democrat St.〕  
 〔62 理髪店(本田夫人)〕  
 〔63 タトウ店(フィリピン人経営)〕  
 〔64 旭家具店(古明地利輔)〕

〔古明地利輔 旭家具商会支配人 山梨 963 Iwilei Rd.〕

⑥5 玉突き場

### ベレタニア街

⑥6 丹誠堂薬舗（ベレタニアとリバー街の角）

〔丹誠堂薬舗 店主小河千次郎 Beretania & River〕

〔小河千次郎 薬店主 山口 172 N. Beretania St.〕

⑥7 佐藤時計店（ベレタニア街の丹誠堂薬舗の隣）

〔佐藤伊勢吉 宝石商 福島 168 N. Beretania St.〕

### リバー街

⑥8 大久菓子店（ベレタニア街海側とリバー街の角、後に中国人食

料・果物・雑貨）

〔大久義登 商店主 広島 N. Beretania St.〕

⑥9 嘉屋レストラン（日本食）

〔嘉屋禎蔵 飲食店 山口 1185 River St.〕

⑦0 クリーニング店（加藤）

〔加藤兵吉 洗濯業 福島 1186 River St.〕

⑦1 島屋商店（尾上ファミリー）

〔島屋商店 店主尾上久二 1187 River St.〕

〔尾上久二 島屋商店主 香川 106 Mild Lane〕

⑦2 空地（リバーとパウアヒ街の角、一九三〇年代の半ばまで子供の

遊び場）

⑦3 武居呉服店（リバーとパウアヒ街の角、武居熱血は有名な講談師）

〔武居熱血 呉服店主 山口 River & Pauahi Sts.〕

⑦4 米屋ホテル

〔米屋旅館 館主米屋三代榎 River St.〕

〔米屋三代榎 旅館主 山口 River St.〕

⑦5 中津トランク店（手荷物店）

〔中津貞雄 トロंक店主 山口 1081 River St.〕

⑦6 理髪店

⑦7 〈尾懸〉時計店

〔尾懸武治 時計店主 山口 1049 River St.〕

⑦8 福寿亭レストラン（リバー街とホテル街山側の角、おいしい天婦

羅と大きなかまぼこで有名）

〔大角寅吉 福壽亭主人 広島 Hotel & River Sts.〕

⑦9 精々堂薬店（ホテル街の海側とリバー街の角、支配人橋本萬榎）

〔精々堂商店 支配人橋本萬榎 Hotel & River Sts.〕

〔橋本萬榎 精々堂支配人 山口 2455 Maui St.〕

⑧0 理髪店（浜田）

⑧1 男性衣服店（リバーとキング街の角）

## キング街

⑧② 長尾商店

〔長尾呉服店 支配人金澤寅之助 185 N.King St.〕

〔長尾健一 長尾商店主 広島 185 N.King St.〕

〔長尾太郎市 長尾商店主 広島 185 N.King St.〕

〔金澤寅之助 長尾商店支配人 広島 1237 Palama St.〕

⑧③ 武蔵屋

⑧④ 畑商店

〔畑呉服店 支配人中村精一 175 N.King St.〕

〔中村精一 畑商店支配人 広島 175 N.King St.〕

なお、番号が付されていない図3の上部の建物についての『布哇年鑑』（一九二八年）の情報は以下の通りである。

〔村上茂 自動車修繕業 熊本 1214 Aala Lane〕

〔神州屋旅館 館主今中幾太郎 263 N. Beretania St.〕

〔加藤神社 1215 Hall St.〕

業種ではレストラン・菓子店などの飲食関係、洋服、呉服など服飾関係、時計、宝石など装飾関係、理髪店、それに薬店が目立つ。図1の一九一一年頃と比べて玉場、水店が少なくなっている。出身県ではやはり広島、山口が多く、その他熊本、福岡、福島などである。

アララ連合というのは、アララ百貨店とも呼ばれたショッピングセンターである。一九三一年に作られた石造の建物に、ほとんどが日本人経営の商店が入っていた。図3の④⑥⑤⑧の商店がこれにあたり、呉服・洋服・靴・菓子・薬店など様々である。ハワイの田舎から多くの日本人がここへ買い物に来ていた姿が目につく。

アラマーケットは、アララ連合同じ区画内にあるがクイーン街に面しており、一九一八年設立した。もともとは日本人漁民が自分たちの捕った魚を正當に取引できなかつたので、ここで魚の競売の屋台を作った最初のビジネスを確立するために始まった。ここではおよそ三十の商人が屋台を持って市場を形成し、卸と小売を兼ねている。魚商人はほとんどすべて日本人で、牛肉のもの供給者は中国人、豚肉は沖縄人である。商人たちは肉、家禽、魚、野菜、果物を他の食料品店、レストラン、行人、茶店、ホノルル港の船、ここに買いに来る消費者に供給した。<sup>⑩</sup>

また公園劇場については、一九二〇年にアララ公園のすぐ西側に中国人が経営する劇場とし開場し「公園館」と名づけられたが、日本人の興行師がこれを借り受け、一九二一年正月興行から「日本館」と名づけて各種の演芸を催したり日本物の活動写真を上映したりして人気を集めた。女優の水谷八重子は義兄の水谷竹紫とハリウッド訪問の帰途ホノルルに立ち寄り、一九二六年七月この「日本館」に三晩出演し、超満員の観客を堪能させた。一九三四年に「公園劇場」と改称し、大戦中は「パークシアター」、そして一九五二年からは「日本劇

場」となり松竹映画と契約してハワイの独占封切館となった。<sup>(11)</sup>

至る、<sup>(13)</sup>

#### 4. 商店経営者の履歴について

この地区に存在した八十余の商店の経営者はどのような経歴の持主であったのか。当時に発行された日本人名鑑などによって、その履歴が明らかになった人達について以下に挙げてみよう。(番号は図3と一致。傍線部分は筆者)

##### ① 大島薬店

店主大島喜三郎氏は意志強固の人にして当地に渡来して以来刻苦精励遂に現地位に昇進したる人にして、山口県都濃郡富田の人なり。氏は郷里に於て普通学を修めたるを以て当地着以来、家庭労働の家庭労働の余暇、大に薬学を勉強して遂に薬剤師となり、薬店を開業せる人なり。<sup>(12)</sup>

##### ⑫ 森永千次郎氏

原籍地 熊本県飽託郡川口村

氏は明治二十五(一八九二)年一月九日布哇の人となった、来布するや直ちに布哇島パウハウ耕地に赴き明治二十五年二月より三十六(一九〇三)年十一月まで十二ヶ年を甘蔗耕地に就働した、明治三十七(一九〇四)年ホノルルに出で現在場所に馬具商を開始して今日に

##### ④6 岩原倉太郎氏

藤田東湖は三十六回刀水を渡ると自作の詩中に誇っているが、我が岩原倉太郎氏が前後四十二回太平洋を往復したるに比すれば到底同一の比でない恐らく在布同胞中のレコード所有者であらう而して岩原氏は之れ程多忙で活動的の人なのである。氏は目下ホノルル市キング街停車場前に堂々たる店舗を構え、広く内外人を顧客として盛大に金物類外別項記載の雑貨商を営んでいる『岩原へ行けば何でもある』と世人に言はるる程氏の営業課目は広汎である。氏は広島市街己斐町の出身にて其渡布せしは明治二十一(一八八八)年で暫く労働に従事せし後小規模の雑貨店より漸次地盤を築き今日の盛大を来したのである在布将に三十有余年此の間太平洋を往復せしこと四十二回は前記如くにて氏が活動の一端を窺つて知る事が出来る。今やホノルルの商店は令息竹登氏に一任し、倉太郎氏は広島に事務所を置き内地仕入に従事し相呼応して隆盛を図つて居る岩原商店の営業課目は左の如くである

日米金物諸道具類 電気諸道具 板硝子ペンタ漆器陶器類 キッチン道具 呉服反物

和洋雑貨文房具類 日米玩具類 履物類 旅行用具 仏壇仏具類 其他結婚用具<sup>(14)</sup>

## ⑤1 前田勘司氏

出生 長野県東筑摩郡山形村

ホノルル日の出製麵会社支配人、カリヒなるアメリカ製麵会社支配人を經、一九二六年独立してベレタニア街に「甘栗太郎」商店を開き、支那産並に菓子類一切を販売す。其後北キング街に移転、發展して今日に至る。<sup>(15)</sup>

## ⑤4 小林政一氏

出生 山口県大島郡屋代村 大正二(一九一三)年渡布

渡布前三菱合資会社若松支店勤務たりしことあり。着布後、精々堂商店、布哇清酒会社に勤め、一九一九年小林呉服店を独立開業、傍ら一九二六年来キースター式布哇裁縫専門学校を經營、業勢發展して今日に至る。<sup>(16)</sup>

## ⑤5 佐藤太一氏

出生 山口県都濃郡末武村 明治三十九(一九〇六)年十二月二十一日渡布

最初オアフ・カンツリー倶楽部に五年勤め、後、帽子洗濯所を開き、帽子輸入製造販売業に進展し、更に男子服装店を現在の場所に創めて、同業間唯一の既製洋服店として好評を博し、忽ちホノルル屈指の一大商店となった、資性温厚にして着実、商略に富む。<sup>(17)</sup>

## ⑤7 福田善一氏

原籍地 広島県山県郡筒賀村

氏は明治三十二(一八九九)年四月来布した、加哇島に渡りケアリア耕地に半ケ年就働し其後同島ウィルアで仲買商を営むこと三年にしてケアリア耕地に帰り賄業に従事した、明治三十八(一九〇五)年ホノルルに成功の機会を求めて出府、ベレタニア街に雜貨店を開いたが間もなくキング街通りオアフ鉄道停車場前に移転した、此頃より氏の營業は日増し順調に向ひ数年を経てキング街アラ公園前の新築石造建物に移り日米呉服反物並に男女被服付属品一切を販売する堂々たる商店を經營するに至った。<sup>(18)</sup>

## ⑤9 岡廣寛治氏

偉大なる体格と自転車及モーター・サイクルに関する深い知識の所有者たる岡廣寛治氏は山口県吉敷郡小郡町の人、明治二十二(一八八九)年一月五日を以て生れ、郷里の中学校卒業後明治四十(一九〇七)年二月渡布した。時に十八歳の一青年であった。布哇に於て活動するには英語を知るの要あるを見たる君は暫くパラマ・セツルメントに働きつつ傍英語の研究に熱中し後ホテル街村上商店に入店し商取引の實地を学んだ。明治四十五(一九一二)年停車場前の佐藤自転車店を買ひ受、岡廣自転車店と改称し後同く停車場前の新築石造家屋に移転したが、位置の良好なると君の如才なき商売振りに業務は大に栄えつつある、近年自転車の外モーターサイクルの修繕及販売を開始した

るは頗る先見の明ある遣り方にて大に成功して居る。<sup>(19)</sup>

⑥1 谷村松右衛門氏

原籍地 山口県大島郡屋代村

氏は商業の目的を以て明治三十二(一八九九)年八月八日に来布した、ホノルルに居住し商況視察中ペスト焼払事件に会しわずかに身を以てワイキキに逃れ荷物全部を焼却されて裸一貫となったが友人の勧めに従ひ白人家庭に勤めることになった、家庭労働に従事すること十二年、明治四十五(一九二二)年一旦帰国したが大正二(一九一三)年再渡航し同六(一九一七)年七月森藤定人氏と共に羅紗商を開業、同九(一九一〇)年五月業務発展に伴ひ組織を株式会社に改めて布哇羅紗商会と称し、社長に挙げられて専念経営に当りて今日に至る、布哇羅紗商会は邦人唯一洋服地卸商にして年々佳良の営業成績を示してをる。<sup>(20)</sup>

⑥4 古明地利輔氏

現籍地 山梨県東山梨郡西保村

氏は明治四十(一九〇七)年三月布哇に来る、布哇島パイコウ耕地に於て労働に従事すること一カ年にしてホノルルに出で布哇日日新聞社の事務員となり、林商店の店員となり更にオアフ島カハルウ、ストアに勤め、再びホノルルの人となり保険会社の代理人となり、家具商富士商会に働いたりした、大正十(一九二二)年頃同志と協力して

現在場所に日米家具商旭家具商会を創立し其支配人として敏腕を揮ひ以て今日に至る。<sup>(21)</sup>

⑥6 株式会社丹誠堂商会

米国流の薬舗は単に薬品、売薬、医療器械等の販売のみに止まらず。化粧品、文房具、楽器、日用品、雑貨及煙草、写真器、清涼飲料をも販売し、宛然小規模の百貨店の観がある。此れ米国の国風として普通商店は毎日五時乃至六時を以て閉店するも薬店は夜を徹して開店し居るを以て自然各種の顧客を吸集するの故ならん乎、兎に角米国の薬店は薬種一方にては充分なる成功を見るを得ざるが如し。株式会社丹誠堂商会は大正七(一九一八)年六月二十八日薬剤師太田勉氏及富田市太郎氏等發起人として同志を集め当初二万弗の資本を以て開業し主として薬品及有効売薬の卸小売を営んだのであるが、業務日を追ふて隆盛に赴き營業科目も薬品以外に拡張し、化粧品、文房具、楽器、雑貨の卸小売を取扱つて年々多大の利益を挙げ同商会の基礎は益々鞏固となった大正十(一九二二)年六月業務を拡張し資本金一万弗を二万五千弗に増加し同時に丹誠堂薬品商会の名称を株式会社丹誠堂商会と変更した。同店の地位はホノルルの大通路たるベレタニア街とリバー街角にありて小売店としては殆んど理想的である。而して島地には常に店員を派して卸売方面に活動して居る、同商会今日の繁栄は無論其着実なる取引顧客本位の商売振に由るは云ふ迄もないが又商会の役員が協力一致し所謂共和政体主義で社員何れも粉骨碎身同社成功の

為めに努力しつつに由ると云はねばならぬ。<sup>(22)</sup>

⑦① 尾上久二氏

原籍地 香川県小豆郡西村

氏は大正五(一九一六)年、小豆島丸島醤油会社員として商用のため来布した、要務を終わって同年帰国し大正六(一九一七)年七月再び布哇の人となり同年八月リヴァ街に日米食料雑貨店島屋商店を開業して今日に至るが堅実なる経営振りを以て知らる。<sup>(23)</sup>

⑦② 武居熱血氏

山口県出身、現在ホノルル市リバー街一〇八〇に呉服店を経営して繁栄せり、氏は其の名の如き熱血男児にて第一世としての古参格たり、一たび壇上起って熱弁を揮へば風雷俄に動くの感あり夙に各島を遊歴して其名高し、老後商業に従事。<sup>(24)</sup>

⑦⑤ 中津柳太郎氏

原籍地 山口県玖珂郡川下村

氏は明治三十五(一九〇二)年布哇に来る、ホノルルにありて米屋旅館の事務員を勤むること数年、明治四十一(一九〇八)年リヴァ街に氷店を開業し、雑貨商店をも経営した、明治四十四(一九一一年)年トロンコ専門の中津商店に改めたが商策図に当たりて繁栄を呈し、ホノルルに於て最も景気好き店舗の一軒となる、目下は郷里に滞在中家

族は夫人チヨ、長男真雄あり、真雄氏はホノルルに在住して中津トロンコ店を経営してをる。<sup>(25)</sup>

⑦⑦ 尾縣武治

山口縣熊毛郡室積町

亡父梅太郎氏は、明治三十五年に渡布され、室積町人会々々長其他の公職をつとめ、各方面の為に尽されしが、惜しいことには大正十二年十二月十四日遂に他界せらる。<sup>(26)</sup>

⑦⑧ 大角寅吉氏

広島市出身、多年福壽食堂を経営し調味上手と敏速に依り人気を集めて大繁昌、氏は気前好く且つ研究心に富み、毎年のやうに故国を訪問して新しい調理法を研究して来る。<sup>(27)</sup>

⑦⑨ 精々堂薬品商会

店主富田政之助氏はホノルル商人成功者中の一人にして信用あり勢力あるビジネススマンなり。氏は今より二十年前布哇に來り。一時ヒロ市にあつて薬店を営みしが後ホノルルに來りて現今の事業を經營し、次第に繁栄を來したるものにして、氏は山口縣大島郡屋代村の人なり。<sup>(28)</sup>

79 橋本萬槌氏

原籍地 山口県大島郡屋代村

氏は明治四十一年一月五日来布し、ホノルル西村旅館の事務員たること二年、其後富田政之助氏等の経営する精精堂商店に入り支配人として今日に至る、新進の実業家にして商機を見ること敏に能く商界の趨勢を洞察して謬らず精精堂商店の今日ある氏の努力と云つて大に力がある。<sup>(29)</sup>

84 畑貞之助氏

原籍地 広島県広島市堺町二丁目

氏は明治二十七年(一八九四)年布哇に来る、布哇島に於て耕地労働に従事せるも独立事業を志して商店員となり、馬車屋となり具差に辛酸を嘗む、明治三十四(一九〇一)年の春、素志を果して布哇島ヒロに一商店を起し畑商店と称す、当初は微々たる一小雑貨店なりしも拮据経営の結果、営業繁栄、商運熾んとなり遂に布哇屈指の輸入商となりヒロの目貫通りフロント街に宏壮なる畑ビルディングを建築して卸、小売部を置き更にホノルルに驥足を延ばし食料雜貨卸部と呉服反物小売部を開設しヒロ本店は女婿香川勝次郎氏、ホノルル支店は女婿中村精一氏をして支配経営の任に当らしめ、氏自身は日本にありて大阪、広島両地の仕入部を統括し内外相応じて商会に活躍してをる。<sup>(30)</sup>

人名鑑に掲載されている人物はおそらくある程度成功を収めた人物

と考えられるが、それでもハワイにやってきて耕地で就労したり商店で修行を積んだりした後、店を開いた場合が多い。早い時期に来て成功した人は、息子などに経営を任せている。出身地では山口県出身とくに大島郡の出身者が目立つ。広告で掲げた店も含め服装関係と薬品店が多いが、薬品店の場合は丹誠堂など現在のドラッグストアと同様に当時すでに薬品のみでなく、様々な物を販売していたことがわかる。<sup>(31)</sup>

おわりに

第二次大戦中この地域の多くの商人たちは抑留されてしまったことは日本人社会にとって大きな痛手であった。戦後になって一九四七年に鉄道が停止し、市街電車も一九五三年に終わりを告げた。<sup>(32)</sup> また一九五九年にアラモアナ・ショッピングセンターが新しくできた。さらにダウンタウン再開発計画によりホノルル座と日本劇場は立ち退きを余儀なくされ一九六四年に閉館した。<sup>(33)</sup> こうしてアララ地区の崩壊は一九五〇年代から六〇年代にかけて徐々に進行していき、アララ連合のビルも一九七三年に取り壊された。<sup>(34)</sup>

筆者も一年間ホノルルに滞在して感じたことであるが、ダウンタウン地域とその周辺は駐車スペースがほとんど無く、いわゆる現在の車社会においては非常に不便な地域になっている。このこともこの地区が衰退していった大きな要因であると考えられる。

現在この地区はアラ公園が広々として存在するが、アラ連合のあった辺りに高層のアパートが建っているくらいで店らしきものはなく、昼間でも淋しい場所となって昔の面影が全く見られないのが残念である。しかしこの地区が戦後にアラモアナ・センターが出来るまではホノルル最大のショッピングセンターであったことは間違いない。

## 注

- (1) ジャック・Y・タサカ『ハワイ文化芸能100年史』、イースト・ウエスト・ジャーナル社、一八八五年、二四頁。
- (2) Michael M. Okinno, A'ala: the story of a Japanese community in Hawaii, Japanese Cultural Center of Hawaii, 2003, 13p.
- (3) U.S. Census の第12次(1900年)より第15次(1930年)の数値による。
- (4) カナタの FIRE INSURANCE MAP (火災保険地図) について河原典史が「資料調査—火災保険地図の歴史地理学的活用—」(『立命館言語文化研究』十八巻四号、二〇〇七年三月)で紹介しているが、管見ではまだこれを利用した研究はみられない。
- (5) 武居熱血『ホノル、繁昌記』、本重眞壽堂、一九一一年、六頁。
- (6) 森田榮『布哇日本人発展史』、一九一五年、眞榮館、三三五頁。句読点は筆者。
- (7) ジャック・Y・タサカ「思い出の写真で綴る古き良き時代のホノルルの劇場と映画館」(『EAST-WEST JOURNAL』二〇〇三年八月—五日)。および前掲注(2) 35p。
- (8) Oral History Recorder, Newsletter of the Center for Oral History, Social Science Research Institute, University of Hawaii at Manoa, Vol. XIV, No. 2, 6p.
- (9) 前掲注(8) 1—3p.
- (10) 前掲注(2) 25p.
- (11) 前掲注(2) 32—33p。および前掲注(7)。
- (12) 小野寺徳治他編『布哇日本人発展写真帖』(米倉彦五郎、一九二六年)一五三頁。句読点は筆者。
- (13) 曾川政男『布哇日本人銘鑑』、同刊行会、一九二七年、三七六頁。
- (14) 日布時事編輯局編『布哇同胞発展回顧誌』、日布時事社、一九二一年、二八一頁。
- (15) 藤井秀五郎『大日本海外移住史 第一編 布哇』、海外調査会、一九三七年、下編五〇—五一頁。
- (16) 前掲注(15) 四九頁。
- (17) 前掲注(15) 七頁。
- (18) 前掲注(13) 二七四頁。
- (19) 前掲注(14) 七六頁。
- (20) 前掲注(13) 一五一頁。
- (21) 前掲注(13) 三〇三頁。
- (22) 前掲注(14) 五〇頁。
- (23) 前掲注(13) 九〇頁。
- (24) 前掲注(15) 九七頁。
- (25) 前掲注(13) 一八九頁。
- (26) 福田蘭正『洋上の光』布哇浄土宗教団本部、一九三四年、一一九頁。
- (27) 前掲注(15) 八八頁。
- (28) 前掲注(12) 一六三頁。句読点は筆者。
- (29) 前掲注(13) 二三頁。
- (30) 前掲注(13) 三八頁。
- (31) 前掲注(2) 66pおよび74p。
- (32) 前掲注(7) に同じ。
- (33) 前掲注(8) 1p。

〔付記〕本稿の資料収集にあたっては、大阪商業大学比較地域研究所の研究プロジェクト「グローバルゼーションの中のアジア経済と社会」班の研究費を使わせていただいた。

また三つの地図とも友人の原寛氏に作図の協力を得た。記して感謝申し上げます。

市九ノホノル  
角一パバリ街アニタレベ  
煉羊羹  
朝鮮館  
其他菓子類

佛事用  
祝儀用  
御菓子

大久菓子店

四〇五三話電

武居商店

小間物一切  
呉服反物、雜貨

ホノル市グバ1街  
|| 米屋旅館隣 ||

警察は市内の中央部に在り、渡米又は歸朝  
御婚客の御禮食には喜大便五に候  
◎日本珍品 ◎即席御料理 ◎浅草壽し  
◎うざん、そば ◎仕出し御料理

ホノル市ホナル街グバ1角川橋日の出邊朝】  
亭主 大福亭 内

東京仕込りの隨前ある料理人の手にて  
種々大御強御好之次第美味調理仕候

和洋藥種賣藥  
書籍雜誌類  
並蓄音器及音譜

卸直輸入  
大嶋藥店

ホノル市ベレタニア街ア、ラ公園前  
電話一七九三  
郵函六八五  
友配人 木村武平

堅年 トロクニカバン

PHONE 2852  
NAKATSU TRUNK STORE  
No. 1081 River St. Honolulu, T. H.

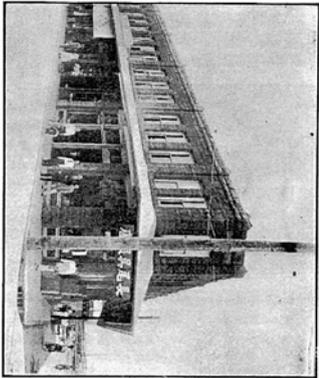
堅年 トロクニカバン  
直輸入之卸小賣

ホノル市グバ1街米屋旅館前  
電話三五五二 郵函八八一

出所：『最新布哇案内』（1920年） 左上のみ 『布哇同胞發展回顧誌』（1921年）



**長尾に  
かぎりなく**



**嫁入  
の仕度は**

▽ 母便季節の最新流行品を入荷取り揃へて居ります。

▽ 家事御多忙の御方々は電話にて御申付被下次第早速御氣召す品を選び分りて御宅迄御持参致します。

▽ 弊店は京都に仕入部を置き季節向き最新流行品のみ仕入便船毎に入荷致しますのでキツト御氣に召す機会があります。

▽ 仕立物は布疋にては他に無き仕立師ご紋書師をも備へ何れも迅速御便利を計ります、何卒御用命の程をお願い申します。

ホノルル市キング街

# 長尾呉服店

電話 一九〇八 郵 郵 九一〇八

出所：『布哇同胞発展回顧誌』（1921年）

祝日布時事創刊廿五週年記念

製劑並ニ發賣本舖

ホノルル府キング街

## 赤星薬舖

電話 二二八九



解熱  
藥王  
ピラミドン

赤星家庭常備藥

強壯  
血種  
ヨ一カナル

日米食料雑貨  
ホノルル市リッパ街  
島屋商店  
電話 二九一五

AMAGURI-TARO  
富内省  
天下品  
甘栗太郎  
自然の味  
御賞上  
北へレタニフ街アラ公園隣  
甘栗太郎賣店  
電話 二二二四  
郵函

三安  
大堅岸  
特選  
前橋車件ホルル  
會商具家旭  
二五九風郵  
ニ〇三話電  
△ビュロ  
△ティアル  
△各種チエナ  
△アイズボクス  
△ストリーナ  
△敷物類  
其他家具類全部  
家具一切

右と中上は『布哇同胞発展回顧誌』(1921年)  
中下は『布哇年鑑』(1927年) 左下は『布哇年鑑』(1928年)

P. O. Box 720  
MUSASHIYA  
HONOLULU, T. H.  
Phone 5458

廉い武藏屋  
御客様方の運送ごなつて居ります  
るこごが出来ます。『むさし』やは安いで今  
て、元から新柄を最も低廉の値段で皆様に差上げ  
か『むさし』の信頼であります。弊店は常に大陸  
良品を薄山に取揃、そして廉く賣ります。こ  
製造元から商品を多量に直輸入致して居ります。

西洋呉服反物  
御婦人方や男女御子供衆の西洋着に立立てらる  
呉服反物類は常に新柄を清潔に取揃はて居ります  
シャツタンや其の外ベツドカバ、リボン、シワツ  
寝、タオル、ハンカチの類は何品でも『むさし』屋  
へ御出あはは遣り間に合ひます

ホノルル市キング街魚市場近く  
電話 五四五八  
郵函 七二〇八

武藏屋

